

令和6年度使用小学校用教科用図書採択理由書

教科	種目	発行者	採 択 理 由
国語	国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> □ 単元でつきたい力を明確にし、単元末の「ふりかえろう」では評価に対応した3つの観点について振り返ることができるよう、よく配慮されている。 □ 学習指導要領で示されている各領域の学習過程に沿って学びの流れが示され、国語の力を身につけることができるようよく配慮されている。 □ 単元の初めに「問いをもとう」を位置付けることで、児童の主体的・対話的で深い学びを促すよう、よく配慮されている。
国語	書写	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> □ 2年生以上に「たいせつ」が位置付けられ、学習のポイントが一目で分かり、児童が基礎基本の定着を図れるようよく工夫されている。 □ 1年巻頭に「しよしやすたとぶつく」、3年巻頭に「毛筆スタートブック」が設けられており、硬筆・毛筆学習の入門期における基本を網羅することができるようによく配慮されている。 □ 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程が示されており、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるようよく配慮されている。
社会	社会	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> □ 多様な表現活動が学年の発達段階に応じて紹介されており、習得した知識を定着させるだけでなく、社会的な見方・考え方を働かせながら思考力、判断力、表現力を育成することができるようによく工夫されている。 □ どの単元も「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という構成で、問題解決的な「学習の進め方」も例示されており、主体的に学習できるようよく考えられている。また、「まなびのポイント」の中に話し合う活動が位置付けられており、対話的な学習が進められるようによく考えられている。 □ どの学年も巻頭で前学年の既習内容を振り返ることができるように工夫されている。また、SDGsについて社会科全体を通して学びに活用できるようによく工夫されている。
社会	地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> □ 「3年生の学習」では、初めて地図にふれる3年生児童が親しみをもって地図を活用することができるよう、地図帳の使い方や地図の読み取り方について丁寧に示してある。そのため、児童が地図のよさを感じながら様々な学習場面で活用することができ、基礎・基本の技能を身に付けることができるようよく工夫されている。 □ 「地図マスターへの道」というコーナーがあり、そこに掲載されている問題に取り組むことで楽しみながら地図帳を使って調べ、各地の特色が学べるようになっている。 □ 持続可能な開発目標（SDGs）の特設ページが設けられており、SDGsの視点を養える写真などの資料が充実している。児童が個の興味関心に応じて調べることができたり、発展的に追究したりすることができるようよく工夫されている。

算数	算数 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> □ 「資質・能力の3つの柱をバランスよく育成する」という点において、獲得した数学的な考え方を統合したり活用したりできるように構成が工夫されていたり、算数の学習を日常生活に活かすことができるように題材が工夫されている。 □ 飛騨地区の算数・数学指導で重視している「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行う」という点において、授業の流れが詳細に記述されており、多様な考えに触れながら、数学的な見方・考え方を働かせ協働的に学ぶ授業のイメージが具体的に示されている。 □ ICTを積極的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを促進させたいという点において、デジタルコンテンツを活用し、式と図、場面の相互関係をより視覚的に把握しながら考えたり仲間に説明したりすることができ、プログラミングがどの学年にも位置付き段階的に学ぶことができるようになっている。
理科	理科 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> □ 児童が見通しをもって学ぶことができるように、表紙見開きに学年で学ぶ単元等が見やすく整理されている。 □ パンダのキャラクターが、大切な場面ごとに「理科の見方・考え方」を働かせるよう促している。「のぼそう！理科の力」で対話の充実を図る視点を示して、深い学びの実現に向けてよく工夫されている。 □ 各単元の終末にある「ふりかえろう」で、分かりやすく手書き風にまとめであり、ノートづくりの参考としても活用できる工夫がなされている。 □ 「こんなところにも」というコーナーで、単元の学習内容と身の回りにある事象とのつながりを分かりやすく説明している。
音楽科	音楽 教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> □ 「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養の3本の柱を一教材、一題材の中でバランスよく育成できるような内容の構成・配列がされている。また、さらに「思考力・判断力・表現力」を高め豊かな表現になるような工夫がされている。 □ 一題材の中に複数の領域が含まれており、発展的な学習を行うことができる。また、低・中・高学年ごとに同じような題材の配列になっており、6年間を通して系統的・発展的に学習が進められるように配慮されている。 □ 郷土への親しみをもって学べるよう、教材が全学年にバランスよく配列されている。さらに、飛騨に伝わる音楽により親しめるよう教材が工夫されている。
図画工作	図画工作 日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> □ 資質・能力の三つの柱に基づいた「学習のめあて」が、3観点を5項目（知識・理解・発想や構想・鑑賞・学びに向かう力、人間性等）に細分化し、育てたい力が明確に分かりやすく示され、よく配慮されている。 □ どの学年でも版画題材が扱われている。カラーの版画作品だけでなく、飛騨地区で実践されている白黒の版画作品が多く示され、多様な版表現のよさが実感できるようによく配慮されている。 □ 巻頭が、教科書の使い方や学習の進め方が例示され主体的に学べるように、よく工夫されている。また、巻末が、用具の安全な取り扱い等について区切り線を引き、よく工夫された分かりやすいレイアウトになっている。

家庭科	家庭	東京書籍	<p>□技能の習得を図る実習の手順や道具の扱い方が大きな写真で豊富に掲載されており、より分かりやすく示されている。</p> <p>□目次、各題材のタイトル番号、インデックスに、指導内容が図で示されており、系統性が分かりやすい。また、既習事項を確認する際にも、必要な内容を探るときの手助けとなる。</p> <p>□図版のサイズが大きく数も多く、誰でもわかりやすく活用しやすいようになっている。</p>
体育	保健	東京書籍	<p>□考えたことを「書いたり」「伝えあったり」ステップ1から4までの流れに、資質・能力の三つの柱がバランスよく構成されている。また、学びを振り返るステップ4「まとめる・生かす」では、「記入欄」が設けてあり、体育が専門ではない担任でも授業が進めやすいよう、よく工夫されている。</p> <p>□「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」という点で、漫画や写真を導入に取り入れ、意欲的かつ主体的に学び、自分事として考えることができるよう、よく工夫されている。また、児童の気づきを大切にステップ1では、主体的に学習に取り組むことができるように問題意識を高めた後に、学習課題を提示してある。さらにステップ3では、自分の考えをまとめ、ステップ4では、実生活につながるようによく工夫された構成になっている。</p> <p>□健康や安全を守る地域の活動についての特徴という点について、「自然災害によるけがの防止」では、近年起こった三つの代表的な災害を取り上げるとともに、豪雨や豪雪あるいは火山等、この飛騨地域に関連した教材も扱うなど、よく精査されている。また、デジタルコンテンツに地域の様子も活用されている。</p>
生活	生活	東京書籍	<p>□どの単元でも、様々な活動に対して児童の思考の流れに寄り添った工夫がされている。資質・能力の3つの柱の育成について、表現の方法や振り返りの活動、また次活動に対する興味・関心の持続性を意識して構成されており、児童自身の変容が実感でき、もっとやりたいという高い意欲につながるよう、よく工夫されている。</p> <p>□スタートカリキュラムの視点に沿って、幼児期から小学校低学年に至る連続性のある学びが、児童のみならず保護者にも丁寧に分かり易く提示している。また、他教科や次の学年、3年生以降にもつながる活動が多く掲載され、発展的な学びができるよう、よく配慮されている。</p> <p>□児童の発達段階に合わせて、自身の気づきの質がより高まるための手立てがよく工夫されており、さらに比べ方や例え方がイラストや解説で具体的に示されているなど、深い学びが実現できるよう、よく工夫されている。</p>

<p>外国語</p>	<p>英語</p>	<p>啓林館</p>	<p>□「聞くこと」を通してイメージをもったり、表現を理解したりすることができ、それを踏まえて「チャンツ」で慣れ親しんだり、「話す」「書く」といった言語活動に取り組んだりできる。</p> <p>□単位時間において、段階的に語彙・表現に慣れ親しむとともに、考えながら自分のことについて表現できる。また、授業前半で学んだ内容を踏まえて、ねらいとする表現を活用しつつ、自分の考えや思いを交えて自己表現できる。</p> <p>□QRコードを読み込み、SDGsにつながるコンテンツや他教科に関連する内容について学ぶことができる。また、言語活動にある「Hints」には、語彙リストから児童が言いたい英語を選択して文を作り、その音声を聞くことができる機能があり、児童の学習をサポートできる。</p>
<p>特別の教科</p> <p>道徳</p>	<p>道徳</p>	<p>光文書院</p>	<p>□冒頭の発問で子どもの経験を想起させたり、主題に関わる問題意識をもたせたりすることができる。また、教材末の「考えよう」「まとめよう」が、児童も教師も見通しをもって学ぶことができるように、ねらいに迫る視点からの発問構成となっている。そして「ひろげよう」で道徳的実践力につながるような発問が位置づいている。</p> <p>「思考ツール」「対話ツール」を発達段階に応じて紹介しており、必要な時にここを繰り返し参照することで主体的・対話的な学び方を身につける工夫がよくなされている。</p> <p>□地域の実態に応じた多様な身近な地域教材があり、岐阜県に関連した教材が充実している。また、地域に根付く伝統や文化・行事・先人などが教材として取り入れられ、教材がより自分のこととして身近に感じられるとともに、国や郷土への誇りをもつことにもつながるよう配慮されている。</p> <p>□現代的な課題に関わる重点項目について、「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」などの重点主題を設け、問題意識をもたせる「扉ページ」、それに続く教材2種をひとまとまりにした配列になっている。一つの主題を複数時間扱うことで深く学ぶことができ、多面的・多角的にとらえることができる。また、情報モラル、生命尊重、いじめに関わる教材数が豊富であり、繰り返し学ぶことで道徳的実践力を身につけることにつながると考えられる。</p>